発行日 令和8年3月31日発行　発行責任者 石川 義和　住所 郡山市朝日１丁目23-7　電話 024-924-2507　FAX 024-924-0141

郡山市議会

新政会だより

しんせいかい

VOL. 35

令和8年 郡山市議会 3月定例会報告

3月定例会の概要

令和7年度郡山市議会3月定例会は、2月19日から3月19日までの29日間にわたり開催されました。

令和8年度当初予算については、市政運営の3つの基本方針のもと「郡山市第7次総合計画」の6つの大綱に基づき事業を盛り込み、特に、市民の皆様や関係団体の皆様の声も伺いながら、選択と集中のもと、新たな課題への投資を行うこととし、「若者地元定着」、「魅力発信」、「子育て支援」、「まちづくり（ハード）」、「まちづくり（ソフト）」、「物価高騰対策」の6つの重点分野を設け、将来都市像の実現に向けた編成となっております。

また、将来都市像にある「鼓動」、市民の皆様の「躍動」や「感動」、新たな課題に取り組む「始動」などを表す「動」をキーワードに掲げ、「市民とともにまちを動かす予算」となっております。

当初予算の規模は、一般会計1,447億2,000万円、特別会計1,024億7,523万円となりました。当初・補正あわせて78件の議案および本定例会にて追加提案された補正予算議案4件を可決するとともに人事案件1件、議会案3件についても可決同意しました。

総務財政・建設環境・生活福祉・文教経済の各常任委員会においては、付託された令和7年度3月補正予算および令和8年度当初予算・補正予算、提出された請願について審査しました。

新政会議員紹介（連絡先） ご意見をお気軽にお寄せください

顧問（4期）
廣田 耕一
生活福祉常任委員会
郡山市監査委員
日和田町字南原2－111
☎・FAX
024－958－1101

会長（4期）
石川 義和
建設環境常任委員会
台新2－4－11
☎・FAX
024－953－6062

副会長（3期）
折笠　正
総務財政常任委員会
田村町下道渡字坂ノ下65
☎・FAX
024－955－3913

（4期）**栗原　晃**
文教経済常任委員会
議会運営委員会
亀田1－24－11
☎ 024－938－4151
FAX 024－924－0141

（3期）**良田 金次郎**
生活福祉常任委員会
湖南町赤津字南町4172
☎ 024－983－2914
FAX 024－953－2088

幹事長（3期）
會田 一男
建設環境常任委員会（委員長）
議会運営委員会
郡山地方広域消防組合議員
西田町木村字池ノ上18
☎・FAX 024－983－9957

（2期）**福田 文子**
総務財政常任委員会（副委員長）
郡山地方広域消防組合議員
堂前町6－5
☎ 024－922－1313
FAX 024－922－8312

（1期）**遠藤 利子**
議会運営委員会（副委員長）
生活福祉常任委員会
広聴広報委員会
都市計画審議会
喜久田町早稲原字明神脇26
☎・FAX 024－958－4262

（1期）**冨樫 賢太郎**
文教経済常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
富久山町久保田字
大久保76－1たんぽぽC202
☎・FAX
024－911－9224

12月定例会の主な「一般質問」

一般質問　質問者：會田 一男 議員

◀実際の映像もご覧になれます

なりすまし詐欺の被害内容について

Q　令和6年度の市内におけるなりすまし詐欺の被害はどのような内容が多いか伺う。

A　電話を利用し親族、警察官を装い現金をだまし取る「オレオレ詐欺」や「ニセ警官詐欺」、また不特定多数の者に架空の事実を告げ現金をだまし取る「架空料金請求詐欺」が約6割を占める。

高齢者の被害防止について

Q　高齢者向けのなりすまし詐欺対策として、警察署との連携含め市としてどのようなことを実施しているのか伺う。

A　詐欺と思われる事案を認知した場合、詐欺の手口や注意事項、相談先などを市ウェブサイトやSNSに掲載し速やかな注意喚起をしている。高齢者を含め全世帯対象に消費生活センター出前講座を実施の他、「詐欺被害防止チラシ」を作成し全戸配布した。今年度は年金受給日に合わせ市内の金融機関における啓発活動などを行っている。

【その他の質問】● ふくしまデスティネーションキャンペーンについて　● 感染症対策について
● コメの価格安定化対策について　● オンライン診療について　● その他

一般質問　質問者：良田 金次郎 議員

◀実際の映像もご覧になれます

ギャンブル依存予防策の支援体制について

Q　ギャンブル依存症は自分自身で解決・回復することは困難な病気であり、できるだけ早期に専門機関に相談し治療と回復に向けた支援を受けることが重要と考える。ギャンブル依存症の家族も早期の社会復帰を願っている中において、本市としての支援体制の取組状況と今後の取り組みについて伺う。

A　本市では保健所において、保健師や精神保健福祉士等による相談対応を随時行うほか、医師や臨床心理士等による「こころの健康相談」を実施し、個別の相談対応やアウトリーチ支援として家庭訪問などを実施している。今後の取り組みとして、依存症の正しい理解を深めることを目的として、市民向けの公開講座の実施を検討している。

クマ対策について

Q　クマの出没が止まらず、本年度の出没件数は過去５年間で最多となっている。市民の安全・安心を守るためクマ対策をどのように考え実行していくのか伺う。

A　現在取り組んでいる対策に加え、国のクマ被害対策パッケージを最大限に活用し、県及び鳥獣被害対策の最前線を担っていただいている郡山市有害鳥獣捕獲隊との連携強化や、専門人材の育成に努めるとともに、誘引物となる放任果樹の伐採、人とクマとの緩衝地帯の整備などを進める予定である。さらに、鳥獣保護管理法の改正に伴い迅速に対応する体制を整備するほか、新技術を調査・研究するなど、市民の安全・安心の確保に努めていく。

【その他の質問】● 不登校対策について　● 豊田貯水池跡地利用について　● 下水道点検作業の安全確保について
● 市役所の窓口会話を文字化について　● その他

一般質問　質問者：冨樫 賢太郎 議員

◀実際の映像もご覧になれます

ごみのリユース事業の更なる利用拡大に向けた取り組みについて

Q　本市は「みんなで目指す『郡山ごみ減量20%』」のロードマップに基づき、ごみ減量施策を進めており、その中で2008年度から実施してきたリユース事業は、令和6年度、環境省のモデル実証事業としてリユーススポットを展開し、常設1か所・臨時6か所を開設した。より多くの市民が参加可能な取り組みとして好評を得たことから、今年度は富久山クリーンセンターで規模を拡大して実施している。
「こおりやまリユーススポット」は市民の皆さまからも好評な取り組みであり、ごみの排出量削減にも寄与する取り組みであると認識している。期間や開催場所など、更なる拡大についてはどのように考えているのか伺う。

A　本市は本年6月から「郡山ごみ減量20%」を掲げ、広報紙・ウェブ・SNS・動画などで周知を進めている。リユーススポットについては、昨年度の実証事業で「リユース率が70%を超え、2か月半で15トンが再利用された」と効果が確認され、今年度は規模を拡大して実施中である。
令和7年12月6日時点で来場者は2,882人と前年より約1,400人増加し、リユース量も約7.7トンで、昨年より約3.5トン上回っており来場者・リユースともに約2倍となっている。アンケートでは「期間の延長」「常設」「季節ごとの開催」など拡大を求める声が多いことから、市民意見を踏まえ開催期間を検討していく。

【その他の質問】● サイバーセキュリティ対策について　● 再生可能エネルギーの普及拡大と環境保全の両立について
● 自転車の安全対策について　● その他

3月定例会の主な「代表質問」「一般質問」

代表質問　質問者：石川 義和 議員

◀実際の映像もご覧になれます

市長２年目の市政運営について

Q　本市は、市民生活の安定、物価高騰対策、企業誘致、農業の活性化、人口減少対策、地域経済の活性化、等々課題山積。これらの難問解決に取り組み市民が本市に住んでよかった、今後も住み続けたいと一人でも多くの方に思われ、そして選ばれるまちにしていただくとともに、誰一人取り残されず、幸せや生きがいを感じられるウェルビーイング都市郡山を目指すべきである。
市長の市政執行の基本的な考えを伺う。

A　本市は、人口減少、物価高騰、産業振興、農業の持続的発展等の困難な課題に直面しており、第7次総合計画の将来都市像の実現に向け、各分野の施策を連動させながら総合的に取り組み、誰もが将来に希望を抱き、自分らしく暮らせるまちを築くため、市政運営に全力を尽くす。

郡山駅東口一帯の総合開発について

Q　郡山駅東口一帯の開発は、市民が強く待ち望んでおり、本市にとって永年の悲願である。
次の100年のまちづくりを考えると避けて通れない重要な案件、本市の考えを伺う。

A　郡山駅東口一帯の開発は、きわめて重要なエリアであると認識している。駅東側の将来像や土地利用の方向性についても広く意見を伺いながら、関係部局が連携し、まちづくりを推進する。

【その他の質問】● 持続可能な財政運営について
● 公共施設等総合管理計画について　● ごみの減量化に向けた取り組みについて
● 公共交通の維持について　● 安積永盛駅の整備について　● その他

一般質問　質問者：福田 文子 議員

◀実際の映像もご覧になれます

防災力アップ　女性参画について

Q　防災に女性の参加と目線を取り入れるため、これまでどのような取り組みを実施して来たのか伺う。

A　地域防災計画の作成を担う「郡山市防災会議」の構成団体として「郡山市女性消防協力会連絡協議会」や「郡山市婦人団体協議会」に参画いただくとともに令和4年度から防災危機管理課防災係に女性職員を配置し、所属等の女性職員の意見を踏まえ、令和6年3月の「郡山市防災備蓄計画」策定に際し、防犯ブザー及び保温シート、ペーパー歯磨き等計画に位置付け備蓄を進めている。昨年8月の市総合防災訓練では、当該マニュアルに基づき女性専用スペースを設置し、参加者に広く周知した。

備えと年一回の確認で安心アップ

農商工部の連携について

Q　昨年４月１日付の組織改編により農商工部となって約１年が経過する中、見出された課題や事業の成果について伺う。

A　関係団体の参画による「郡山市6次産業化・農商工等連携推進計画」の策定をはじめ、農商工連携による新商品開発の支援、さらには企業と農家とのマッチングや企業の農業参入相談等を行ったところであり、輸出・海外展開事業においてもタイ等への販路開拓や戦略策定を目指すなど、農商工の横断的な連携により着実に成果を重ねた。一方で、新商品・新サービスの開発、異業種参入に取組む事業者の確保などには、中長期的な支援が必要なこと、輸出における生産から販売までの一体的支援、観光部門との連携強化など、課題も見えてきたところである。

【その他の質問】● 孤独・孤立のない社会を目指して　● 学校改革について
● 選ばれるまち郡山の実現に向けた取り組みについて　● その他

一般質問　質問者：栗原 晃 議員

◀実際の映像もご覧になれます

介護施設の事故について

Q　全国的に介護施設での死亡事故が多発しており、自治体の約50%は分析を行なっておらず、報告を受けた自治体は分析した情報を施設と共有していない。情報共有を図り類似事故を防止することが必要だが、事故発生の防止に向けた本市の取り組みについて伺う。

A　本市では施設において事故が発生した場合には、内容を調査分析し、介護事業者に対し、発生防止とサービスの質の向上を図る視点から、毎年実施している集団指導において事故の発生場所や原因などを周知し、「介護人材育成セミナー」などを開催し安全確保に取り組んでいる。

フレイル予防事業の実施状況について

Q　本市においても高齢化率は年々上昇しており、加齢に伴う筋力低下いわゆるフレイルは要介護状態へ移行する大きな要因となっている。筋肉量を維持し健康寿命を延ばすために、高齢者にとって運動する機会はとても大切である。本市における介護予防事業や健康体操教室などの取り組み状況について伺う。

A　本市では、介護保険制度における地域支援事業として、地域包括支援センターや保健センター、リハビリ専門職の方々等と連携しながら市民向け介護予防教室を実施している。また、「いきいき百歳体操」をツールとして市民自らが介護予防に取り組む「通いの場」の活動を平成27年度から行い、高齢者の介護予防の推進を図っている。

【その他の質問】● 民有林の整備について
● 多文化共生社会と外国人の受け入れについて
● ラジオ体操と健康づくりについて　● その他

一般質問　質問者：遠藤 利子 議員

◀実際の映像もご覧になれます

本市で始まる５歳児健診の周知と理解について

Q　５歳児健診により、適切な支援を受け安心につながることが第一歩だが、保護者によっては思いもかけず、驚き落胆されるかもしれない。そこで健診を受ける前段階や結果を説明する際の配慮について伺う。

A　健診の目的は、子どもが安心して就学を迎えられるよう、得意なことや苦手なことに気づき、適切な支援につなぐことである。この目的を、広報紙やウェブサイト等で周知を行い、個別通知により健診の意義を丁寧にお知らせする。結果については、保護者と共通認識を持てるような説明に努め、専門職等による相談など、寄り添い、不安の軽減につながるよう配慮していく。

女性が活躍できるまちづくりをめざした仕組みづくりに向けて

Q　女性活躍推進法は、働く女性が個性と能力を十分に発揮できる社会を目指し、女性の活躍推進を義務付ける法律である。女性がいきいきと輝くことは、性別に関係なく誰もが働きやすい、豊かで活力ある社会の実現に繋がる。本市職員における女性管理職比率の現状について伺う。

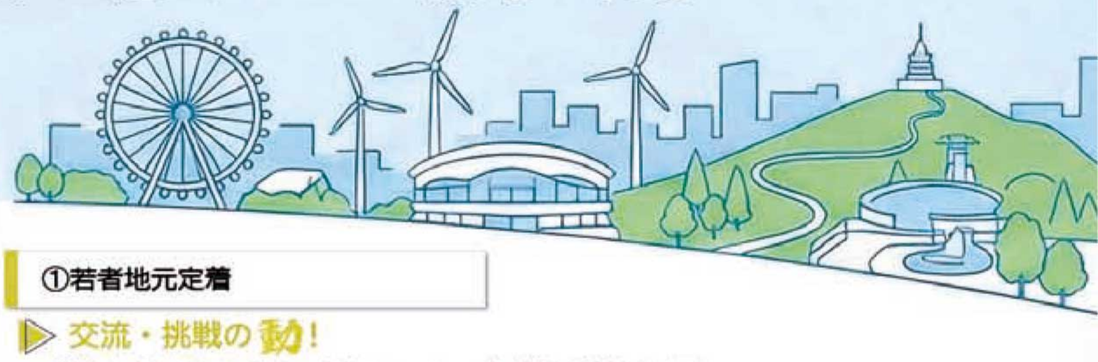
A　令和7年4月1日時点の本市における課長、課長相当職の女性職員の割合は22.1%、係長、係長相当職の場合は33.7%である。県内中核市との比較では、課長、課長相当職の女性の割合は、福島市が12.3%、いわき市が11.9%である。また、係長、係長相当職の場合は、福島市が26.9%、いわき市が21.1%である。中核市の「都市要覧」では、令和6年4月1日時点における、部長及び部次長等を含めた課長相当職以上の女性比率の中核市平均は17.3%で、これに対し、本市は18.4%であり、全国の中核市平均と比較しても高い状況である。

【その他の質問】● やさしい禁煙のまちこおりやまの実現に向けて
● 医療・福祉の視点から考える移動の権利と交通まちづくりについて
● 磐梯熱海温泉の魅力を活かした持続可能な温泉街づくりについて
● 喜久田町地内の県道岩根日和田線について　● その他

令和8年度
郡山市当初予算：市民とともにまちを動かす予算

将来都市像「東北の鼓動　未来を奏でる選ばれるまち　郡山」の実現

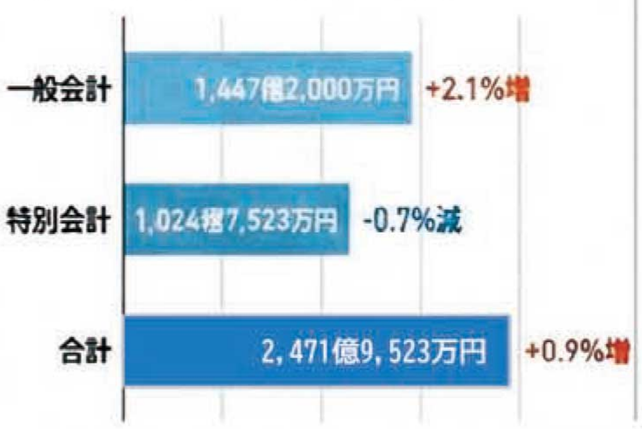
動



予算の規模と将来のビジョン

1,447億2,000万円（前年比2.1%増）

会計別予算額と対前年度比



将来都市像
「東北の鼓動
未来を奏でる
選ばれるまち郡山」

「市民とともにまちを動かす予算」として、まちづくりを進めます。

市政運営の3つの基本方針

選ばれるまち × 「暮らしの充実「笑顔になれるまち」 × 「経済の活性化」

市民の声に応える予算編成を行いました。

①若者地元定着

▶ 交流・挑戦の動！
Z世代を中心とした若者の交流やチャレンジの機会を創出します。

▶ 若者就職の動！
若者雇用の主体となる地元企業の情報発信・人材確保を強化します。

②魅力発信

▶ 農商工の動！
地元企業・団体と連携し、次世代へつなぐ産業を育てます。

▶ 文化・スポーツ・観光の動！
文化・スポーツ・観光の融合による地域活性化と経済の好循環を推進します。

③子育て支援

▶ こども・若者の動！
こども・若者への切れ目のない支援を強化します。

④まちづくり（ハード）

▶ まちなかの動！ 郡山駅周辺エリアの利便性と魅力を向上します。

▶ 交通の動！
幹線道路の整備や安積永盛駅のバリアフリー化等、交通機能を強化します。

▶ 生活環境の動！
より住みやすく、時代に合わせた生活環境を整備します。

⑤まちづくり（ソフト）

▶ 高齢者支援の動！
高齢者の健康維持と社会参加につながる施策の充実を図ります。

▶ 公共交通の動！
高齢者等の足となる公共交通の維持に向け対策を強化します。

▶ 課題解決の動！
地域が抱える様々な課題の解決を図ります。

⑥物価高騰対策

▶ 物価高騰対策の動！
物価高騰による負担を軽減するため、幅広く生活や経営を支援します。

新政会　会派行政調査　報告書

2025年10月30日、『中核市サミット2025 in 福井』に参加しました。スポーツを通じた楽しいまちづくり、地域に密着した安心な福祉のあり方、『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～、と題してパネルディスカッションが行われ、他中核市の取組についての報告がありました。プロスポーツチームとの連携によるまちづくりや、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指すための重層的支援体制整備事業など福祉の観点を取り入れたまちづくりの取組み、既存の施設や事業の枠を超えた地域資源の新たな組み合わせによる地域づくりは、郡山市の課題解決の一助にもなり得ると感じました。

2025年10月31日には静岡県袋井市に伺い、「日本一の学校給食」について説明を受けました。「地産地消の取組を維持しつつ、安全・安心でおいしい給食を提供する」としており、成長期にある幼児・児童及び生徒の心身の健全な発育のため、栄養豊かでバランスの取れた安全な給食を提供しております。本市の学校給食の参考になる内容も多く、今後の学校給食のあり方について、引き続き取り組んでまいります。

郡山市議会　特別委員会の設置について

令和7年12月定例会において、下記のとおり2つの特別委員会が設置されました。

「議会改革特別委員会」は、市民に身近で開かれた議会を目指し、議会改革の推進及び議会のあり方について調査・研究していくことを目的としており、委員数は合計13名で構成されます。新政会からは栗原晃・遠藤利子・冨樫賢太郎が選任され、委員長に栗原晃が選出されました。

「本市の特性を生かした選ばれるまちづくり特別委員会」は、人口減少社会を見据え、限られた財源の中での、音楽やスポーツといった本市の特性を活かした選ばれるまちづくりについて調査・研究していくことを目的としており、委員数は合計11名で構成されます。新政会からは會田一男・福田文子が選任されました。

各特別委員会においては、審議項目も決定し、現在、本格的な審議を進めています。

編集後記

3月は卒業式の時期です。一生懸命頑張った勉強やスポーツ、楽しいことも苦しいことも共に分かち合ってきた友達との思い出はどれも皆さんの心に大切な宝物として一生残るでしょう。

新しい時代の主役となる皆さんの益々のご活躍を期待しております。

（折笠）

ご意見をお気軽にお寄せください
☎(024)924-2507 fax(024)924-0141

虚礼廃止について

公職選挙法により暑中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。
市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。